

こちら校長室

こころ  
心

令和5年度



令和6年 2月 2日

京都市立修学院小学校

校長 鎌田 賢二

TEL : 075-781-4439

目を輝かせ 今を大切に生きる子

～しなやかに 夢中に 安心安全に～

### 家庭教育学級でのこと

昨年のことになりますが、12月21日（木）に家庭教育学級をさせていただきました。20名ほどの方にご参加いただき、楽しい時間を過ごしました。今回はその話を少しさせていただきます。

しつもんをしながら、漢字の見方や考え方、絵本の力についてお話をさせていただきましたが、グループでのお話がとても楽しそうで講師の立場でしたが一緒に入ってお話をしたいぐらいでした。教室もそうですが、受け入れ合える風土があると学びにさらに磨きがかかります。この風土をつくるためにルールを3つお伝えしました。（さて、どんなルールでしょう？集団で活動するには欠かせません。）

漢字については、漢字の色々な見方や考え方で心を養っていけることをお伝えしました。名前を呼ばれて返事するときの「はい」は「拝」からきているようで、素敵な名前を呼んでもらったことに対して感謝するということだそうです。（面白いですね。）すべてはここではお伝えできませんが、「不」という漢字はつぼみの形を表していて、あと少し何かをすればつぼみから花が咲く（要するに「不」はなくなる）という意味です。だから、「不可能」だったらもう少し何かをすると「可能」になり、「不安」だったらもう少し何かをすると「安心・安全」になるということです。そう考えると「不」をつけてついつい「不可能やん」とか「不幸です」などと言ってしまったときにも「不がついているということはあと何かをすれば幸せになるってことだね。どんなことをしたらいいんだろう」というように現状を嘆くだけでなく次へ向かって前向きに動きだせそうです。

絵本については、絵本の力についてお話させてもらった後いくつかの絵本を読み聞かせてご紹介させていただきました。言葉がおもしろい絵本、絵やストーリーが素敵な絵本、絵だけで想像する絵本などです。色々な思いが想像できたのではないかなと思います。絵本を読んでいると「そろそろ字の多いものを読んだら？」ということもあるかもしれませんが、そもそも絵本と本は特質が違います。6年生でも絵本を読んだ後の感性は素晴らしいものです。だから、絵本も本もそれなりに楽しめるのがいいのではないのでしょうか。読書することと学力には相関関係があるような話も聞いています。また、学校運営協議会でも本のリユースフェアを企画していただいていますので楽しみです。

そのような話をしながら楽しく家庭教育学級を終えました。大人であるからこそ子ども心に立って学ぶ姿勢は大切だと感じます。今回はスクリーンとホームページ上にのみ参加いただいた保護者の方の感想も掲載させていただきます。またご覧いただき今後開催する機会がありましたらぜひともご参加いただけると幸いです。